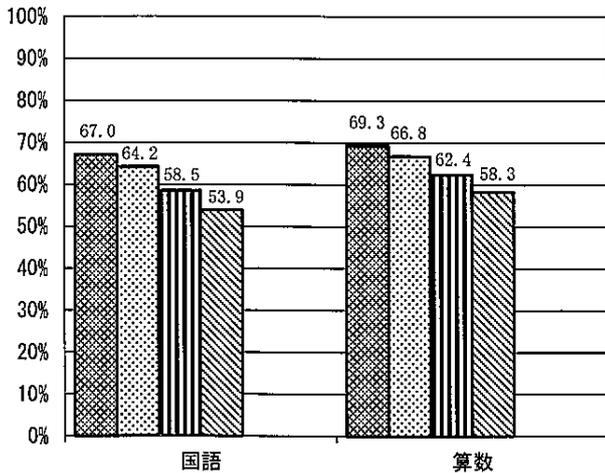


「自分には良いところがある」



○このグラフは、今年の6年生の全国学力学習状況調査の全国集計の結果の一つです。その調査時に行うアンケートで「自分によいところがある」と答えた子どもと正答率の相関グラフです。各教科左から順に、質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」のグループ順の平均正答率です。国語も算数も10%以上の差があり、「自分には良いところがある」ことを、肯定的に捉えているかどうか、学力に反映しているのがわかります。

○本校では、解りたいのに解らない子どもや困り感のある子ども、教室に居場所がない子どもは、自尊心が低くなると考えています。だからこそ、一人一人の特性にあった学習環境が必要で、現在は「フラワー学級」が6学級になります。和歌山県で最も支援学級数が多い学校です。また、「るり色ルーム」「虹色ルーム」などで自信がつくまで少人数学習を行うシステムをつくりました。



○通常、高学年になるほど、「自尊心」は低下しがちですが、今年は95%の本校6年生が肯定回答でした。また、「先生は良いところを認めてくれていると思う」「学校へ行くのが楽しい」と答える割合が非常に高い結果とも関係があると考えています。

○「人が困っていると進んで助ける」児童が本校では、ほぼ100%。これは、本校の特別支援教育やインクルーシブ教育の充実と相まって効果が表れているものと考えます。

○ここ数年、2年生以上の学年ではいじめアンケート以外に、子ども一人一人のクラス内での居場所があるかを探る手掛かりとして「QUアンケート」を学期に1回以上行っています。

○子どもたちが自分に合った環境で、自信をもって成長することを願ってやみません。それが子どもの人権を守っていく私たちのスタートだと考えます。この11月は人権月間です。「自分の人権が守られているなあ」と子どもたちが味わってこそ、他者の人権を守ったり、人権課題を解決しようとしたりするエネルギーが生まれます。

○今月の参観授業では、そういった「人権学習」を中心にご覧いただこうと考えています。どうか振るってのご参加をお願いします。また、他学級・他学年の様子もぜひご覧ください。

〈学校長〉

貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。